

「ナラティブ・ボイス・ブック」という言葉  
を初めて耳にしました。  
ナラティブは日本語では「物語・話術・語り口、或いはナレーション等」のことで、朗読とは少し違いがある言葉です。

初めて聞いた言葉に

引かれ、手にした本が、稲葉なおと著の『ものがたりの街 津山』でした。帯封には「平安時代から現代まで 営

原道真から稲葉浩志ま

で」「津山をめぐる建

築と人・54の物語」

「語り 井上和彦」と

ありました。そして、

随

想

## 新しい書籍のかたち

藤木 靖史

い。

語りは、「ナルト」

や「ドラえもん」など

に声で出演した、かの

有名な声優の井上和彦

塊が動き購入してしま

いました。54カ所とは

どこだろうか？

まず、最初の「八出

天満宮」の参道のウメ

ードリーダーをかざす

と、素敵な声で解説が

始まるではありません

か。よく調査され、津

山人たちが知っておか

なければならぬ内容

を、分かり易く解説さ

れているのには感服し

ました。歴史の教科書

よりも頭に入ること間

までの教科書にはない

新しい発想に拍手を送

りたいです。津山市民

は元より日本中の人た

ちに読んでほしい、津

山は日本一すてきなと

ころだと自信を持って

話して欲しいと、改め

て心の動く出会いでし

た。

どの話にもQRコード

があり、スマホや、タ

ブレットで内容を音声

で聞くことができるよ

うになっているらし

と書かれているのです。

朗読ではなく音声で解

説してくれるらしいの

で、初めての経験をし

てみたいと、好奇心の

と本殿の素敵な写真を

見て、本文を読もうと

したら、右下にQRコ

ードが印刷してあるの

です。早速スマホでコ

違いなしです。54カ所

の見所を津山市民が共

有して、自慢話ができ

るようになって欲しい

と思ったのです。これ

(津山おくにじまん

研究会元代表、津山市

南新座)